

今月の予定

- 12日(日) 立命館高校連携研修会(探究クラスの生徒3名が参加)
- 22日(水) 2学年 SSH 総合 応用講座(3回目)
- 24日(金) エッグドロップコンテスト(2回目)

科学系オリンピック向け学習会

- 物理チャレンジ 19日(日): 物理講義室 09:00 ~
- 化学グランプリ 25日(土)、26日(日): 化学講義室 09:00 ~
- 生物オリンピック 26日(日) [基礎編]、7月3日(日) [応用編]: 生物講義室 09:00 ~

活動報告

SSH 総合 『廃炉と復興』 特別講演会

5月18日(水)のSSH総合の時間に東京電力代表執行役副社長兼福島復興本社代表の石崎芳行さん、常務執行役兼廃炉・汚染水対策最高責任者の増田尚宏さんにお越しいただき、東京電力の福島復興本社の取り組みと福島第一原子力発電所の廃炉の取り組みについて御講演していただきました。2011年の震災から5年が経過しましたが、これまでの復興がどのようになされてきたのか、そしてこれからの復興がどのようになされていくのかを知るような、復興について改めて考える機会となったのではないのでしょうか。



SSH 探究クラス 校内選考会

5月27日(金)の探究クラスの時間でSSH全国生徒研究発表会の校内選考会が行われました。全国大会は8月に神戸国際展示場で行われます。厳正な審査の結果、今年度は放射線班が選出されました。

エントリーした班は以下の6班です。

- ・好適環境水班 『好適環境水が魚に及ぼす影響』
- ・コロイド班 『鉄コロイドを用いたPVAゲルフィルムの開発』
- ・ベンザイン班 『安定なベンザイン誘導体の分子設計と合成単離』
- ・放射線班 『福島県内外における高校生個人戦量比較』
- ・Mg班 『海水からのMg元素の分離回収』
- ・モモ核班 『福島県内の古代モモ核を探る』



SSH探究クラス JSTシンポジウム

本校は文部科学省からSSHの指定を受け、事業を推進するJST(国立研究開発法人 科学技術振興機構)から活動支援を受けています。5月29日(日)にJST主催の下、コラッセふくしまにてシンポジウムが開催されました。このシンポジウムには名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構長でノーベル賞受賞者の益川敏英さんやサイバーダイナミクス株式会社CEOの山海嘉之さんをはじめ、被災地域の生徒、学生や復興に取り組んでいる人々が招待され、復興と科学技術の関わり方について意見を述べ合いました。

本校からは3年生の安斎彩季さんが登壇し、放射性物質と健康について触れながら、福島の農業の現状について発表しました。

SSH探究クラス 1年 エッグドロップコンテスト

5月20日(金)の1年生探究クラスの時間にエッグドロップコンテストを行いました。エッグドロップコンテストとは、ある高さから卵を落としても割れないような衝撃吸収装置を限られた材料から製作するコンテストです。今回は生徒自身が持ち合わせている発想のみを頼りにこの装置を製作しました。成功したのは9班中1班のみでしたが、多くの参加者が次回挑戦する際に、今後の講義で学習する内容をよく活用し、考察を重ねることで科学的な視野とアイデアを豊かにしてくれることを期待しています。

